経営比較分析表(令和4年度決算)

埼玉県小鹿野町 国民宿舎 両神荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(㎡)	宿泊定員数(人)	
0.0	86. 8	4. 302	168	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)	
10, 384	無	55. 1	
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置	
無	85. 7	有	

━ 市町村(左軸)

R01

1 00%

0.90%

0.80%

0.70%

0.60%

0.50%

0.40%

0 30%

0 20%

0.10%

0.00%

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 一 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

<u>. 収益等の状況について</u>

①経営収支比率は、新型コロナウイルス感染症の影 響による行動制限が徐々に緩和され、経済活動の正 常化に向けた動きが進んだのと、宿泊割引等のキャ ンペーンにより集客を増やせた。

②③他会計補助金比率、宿泊者一人当たりの他会計 補助金額は、集客出来たので減少しました。

④定員稼働率は、コロナ禍の行動制限の緩和で上 回って経営改善が図られている。

⑤売上高人件費率は、やはり集客が図られて収益が 上がったので押さえられてきた。

⑥売上高GOP比率は、営業総利益増加により回復

傾向になっている。 ⑦EBITDAとは減価償却前営業利益ですが、ウ クライナ情勢の長期化により光熱費、燃料費、食材

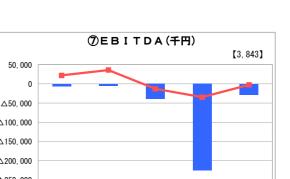
費等の高騰していますが増加、収益確保に努めま

2. 資産等の状況について

⑧有形固定資産減価償却率は、年々施設等古くなり 設備の当施設開業から48年以上が経過し今後も施設 の老朽化が進むことから、計画的な施設の整備、更 新に努めます。

①累積欠損金比率は、黒字になり減少傾向になりま したが、なお一層の経営改善に努め赤字額縮小に努 めます。

⑫企業債残高対料金収入比率は、光熱費等費用増加 もありますが集客の改善により押さえられてきてい ます。なお一層の集客に努めます。



R02

R03

R04

3. 利用の状況

⑬施設と周辺地域の宿泊客数動向

━ 公営企業(右軸)

0.50%

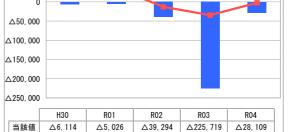
0.40%

0.30%

0.20%

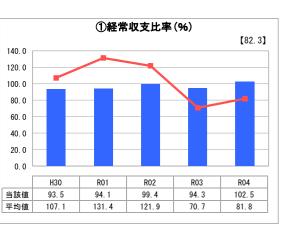
0.10%

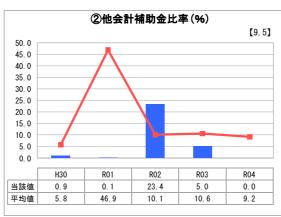
0.00%



平均値 22,115 36,063 △12,817 △34,626 △2,345

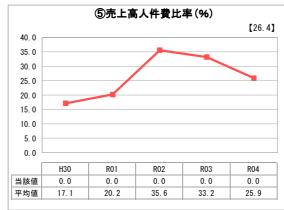
1. 収益等の状況

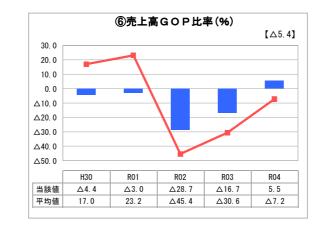


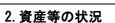


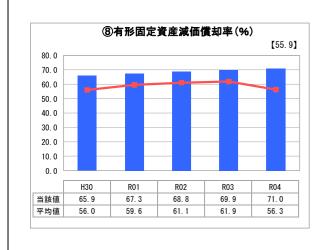


















3. 利用の状況について

13宿泊利用の状況については、コロナ禍による緊急 事態宣言等の行動制限の緩和で、経済活動の正常化 に向けた動きがすすみ、宿泊割引等のキャンペーン 実施により多くの集客が出来た。

今は電話予約から、宿泊予約サイトを通しての予約 が多くなりその分、送客手数料の増加につながる。 自社ホームページからの予約に導き、手数料削減を すべく宿泊プランの販売をより一層行い利用促進を したい。

またホームページの内容等こまめな更新し予約を取 り込みたい。

全体総括

昭和50年本館開業から48年、平成4年新館だった別 館も31年が経過し施設の老朽化が進む中、改修費用 |も増加傾向にあり厳しい経営状況での中、コロナ禍 による行動制限の緩和、宿泊割引キャンペーンの影 響で利用客増加で営業収益も上がりました。

しかし、厳しい経営環境が続く中ではありますが、 より快適で安全に利用できる町営国民宿舎として、 健全な事業運営ができるよう経営改善に努めます。 集客に向けた、ホームページやチラシなどの画像の 更新、よりよい宿泊環境を提供しながら営業を実施 し経営を改善し営業に努めます。